

第1回進路保護者会資料



令和4年度
松戸市立金ヶ作中学校
第3学年

はじめに

別々の道を歩むために

生徒の皆さんは、義務教育終了までは同じ道を歩みます。しかし中学校卒業を境に、同じ道を歩まなくなります。就職したり、家業を継いだり、高校や専門学校等に進んだりします。また、高校でも普通科や職業科、さらに制度の違う単位制の高校もあり、別々の道を歩むこととなります。

別々の道を選択することは、自分の将来へ、自分で歩み出すことです。義務教育のように社会制度で決まっていたり、大人が決めてくれるのではなく、自分で自分の将来を決めることとなります。そのためには、自分にはどのような力があり、将来何をしたいと思っているかを考えることのできる力が必要です。

選択を幅広くするための条件

高校や専門学校に進学したり、就職するには試験という関門があります。その試験を突破するのに必要なものの1つは学力です。学力をつけておくと、選択できる高校や職業の幅を広くします。逆に、学力をつけなければ選択の幅を狭くしてしまいます。特に、公立高校の入試制度が令和2年度から変更になり、より確かな学力をつけておく必要が増しました。

また今の日本の社会は、世界の動きに特に影響を受けます。経済を中心とした外国の影響を、強く受けながら変化していくのが日本です。皆さんが大人になるころ、日本がどのような国になっているのかはわかりませんが、変化をし続けていることは明確です。

変化していく社会に求められるのは、思考力や判断力、コミュニケーション能力などの人間として生活していく上での総合力です。授業で教わることを深く理解することはもとより、様々なことにチャレンジして、総合力をつけてほしいと願っています。

保護者の皆様へ

14・15歳の中学生が、自分の将来を考えることは、大変難しいことです。進路について「子どもの好きに任せる」という方針は、子どもを尊重しているかのように見えますが、子どものためになるとは限りません。ご家庭の方針やお子様への期待、親としての願いなどを適宜話していただきたいと思っています。ぼんやりとしていた夢が具体的になっていくと、意欲にもつながります。

この“保護者会資料”は、保護者会だけではなく、三者面談、家庭での話し合いのときなど、疑問に思ったとき、迷ったとき、不安なとき、確かめるときなど、折にふれて活用してください。

目 次

はじめに

1	進路決定までの流れ	P.1~P.2
	(1)将来のことを考える		
	(2)学校の種別を検討する		
	(3)志望校の候補を決め、その高校について調べる		
	(4)志望校を検討し、決定する		
	(5)三者面談を通して受検校(受験校)を決定する		
2	卒業後の進路について	P.3~P.7
	(1)高等学校の種類と特徴		
	(2)高等専門学校について		
	(3)専修学校について		
	(4)サポート校について		
	(5)その他の学校について		
	(6)就職について		
3	進学先選択のポイント	P.8~P.10
	・高校選択の基本的な考え方		
	(1)自分の意志で選ぶこと		
	(2)学力とともに自分に合った学校を選ぶこと		
	(3)高校の教育内容を知る		
	(4)通学について		
	(5)高校への受験料、学費について		
	(6)第2志望・第3志望の高校を考える		
4	公立高校について	P.10~P.19
	(1)入学者選抜について		
	(2)令和5年度 千葉県公立高等学校 選抜日程		
	(3)一般入学者選抜の検査内容と選抜方法		
	(4)通学区域		
	(5)普通科内に設置されているコース		
	(6)学区別/専門学科設置高等学校		
5	私立高校について	P.20
	(1)入試日程		
	(2)推薦制度について		
6	進路年間計画(進路だより No.3)	P.21~P.22
7	昨年度卒業生の進路(進路だより No.5)	P.23
8	高校訪問・説明会・体験入学について	P.24
9	奨学金制度について	P.24
10	これから心がけること、連絡	P.25~P.26
	高校へ行くための奨学金・貸付金一覧 R3 年度	P.27

Ⅰ 進路決定までの流れ

(1) 将来のことを考える

高校受験のことだけを考えるのではなく、3年後、5年後の将来を視野に入れながら中学校卒業後の進路を考える必要があります。各高校のホームページや、高校案内の書籍などで情報収集をし、機会があるごとに進路のことを保護者の方と話し合しましょう。

(2) 学校の種別を検討する

具体的な志望校を考える前に、高校なのか高専なのか、普通科なのか専門学科なのか、公立なのか私立なのか、共学校なのか男子校・女子校なのか、進学校なのか就職が多い高校なのか、大学付属なのか、専修学校に進むのか、働きながら学ぶのか…など、どんな条件が自分に合っているのかを話し合しましょう。

(3) 志望校の候補を決め、その高校のことを調べる

高校受験案内やパンフレット、各学校のホームページなどから、自分の考える内容に近い学校を何校か選び、調査をしていきましょう。

その際に、「学校説明会」や「一日体験入学」に参加してほしいです。ほとんどの高校が実施しています。7～10月の土・日曜日に多く実施され、「一日体験入学」では授業や実習を体験し、その学校の様子や学科の内容を知ることができます。資料だけでなく、体験を通して学ぶことができるので、大変参考になります。また、複数の学校を訪問・見学することで比較できますので、できるだけ多く見学することを勧めます。

【調べるポイント】

- 校風、教育目標、教育方針 - 宗教教育、スポーツが盛んである、進学に力を入れている等。
- 教育内容 - 英語や数学の授業は週何時間あるのか、クラスの編成はコース別・学力別、少人数指導を実施、外国人講師が多い、留学制度がある等。
- 課外活動 - どのような部活動があるのか等。
- 進路状況 - 卒業生の進路の状況はどうか、進学・就職・浪人生の割合等。
- 通学方法・通学時間 - 家を出てから高校に着くまでは、どのくらいかかるか等。
- 学費 - 授業料・入学金以外にも修学旅行の積立などがどのくらいなのか、部活動に参加するとどれくらい費用がかかるのか等。
- 合格するための学力 - 学校の成績や実力テストなどから自分の学力で合格できるのか等。

(4) 志望校を検討し、決定する

自分で調べた内容や保護者の方等のアドバイスを参考に志望校を選んでいきます。入学したいと思う学校順に第1志望、第2志望、第3志望…と決めていきます。入学したい高校をただ順番に並べただけでは受験の作戦になりません。そこで、次のような点を考慮し志望校を選びましょう。

① できるだけ第2志望校を選ぶ

第1志望の高校に合格できないこともあります。そのため、第2志望の高校に合格しておくこと、心に余裕を持って第1志望の受験に臨むことができます。第2志望の高校であっても、3年間通うことになっても納得できる学校、そこで3年間頑張れる学校を選ばなければなりません。

② 受験校が多いと精神的、肉体的に厳しい

見知らぬ場所へ行って試験を受けてくるというのはかなりのエネルギーを消耗します。連続や一日おきに受験することで疲れがたまり、実力が出せなくなる場合もあることを考えましょう。受験校を何校にするかは、保護者の方とよく話し合ひましょう。

③ 受験の日程を考えに入れながら…

高校の受験は1月中旬から2月下旬にかけて、茨城私立→千葉私立・埼玉私立→東京私立→公立一般選抜→公立二次募集の順になると思われます。同じ県の私立高校では受験日が同じ日になる場合がありますから、特に注意しましょう。

(5) 三者面談で受検校（受験校）を決定する

第1回三者面談(7月)…自分自身をよく見つめ直し、よりよい進路選択ができるようにするための話し合いの場にします。7月の時点での志望校、生活のリズムや学習の仕方について相談したいと思っています。

第2回三者面談(11月)…公立私立受験校の決定、就職先の決定を中心とした面談です。

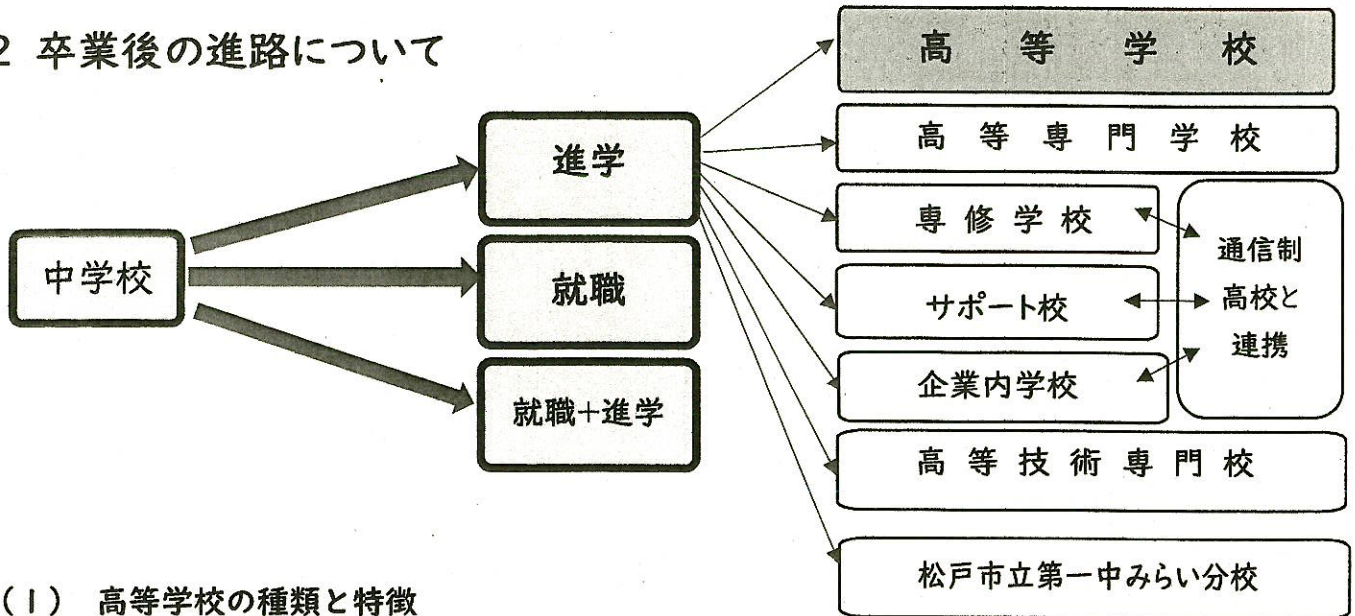
※上記以外で進路先を決めるための進路相談(二者あるいは三者)、受験校変更のための進路相談は必要に応じて随時行います。

※三者面談までに次のことができるようにしておいてください。

- ① 本人と保護者、また家庭内で意見が違っている場合には、どういう点で違っているのかをはっきりさせておきましょう。
- ② 第2回目の三者面談では、具体的な志望校をあげられるようにしておきましょう。1校だけでなく、第2・3志望も、その高校を志望する理由をはっきり言えるようにしておきましょう。(第2回のみ)

大切なことは、自分の考えを持って、自分の受験スケジュールを立てて面談に臨めるかということです。進路について親子で事前に何度も話し合い、高校生活への抱負、将来への希望などについてじっくりと考えましょう。

2 卒業後の進路について



(1) 高等学校の種類と特徴

① 高等学校の種類

ア. 国立高等学校

東京学芸大学教育学部附属高等学校 等

イ. 公立高等学校

a. 県立高等学校

(全日制) 松戸国際高等学校、市川工業高等学校 等

(定時制) 東葛飾高等学校、市川工業高等学校 等

(通信制) 千葉大宮高等学校

(三部制の定時制) 松戸南高等学校、生浜高等学校

b. 市立高等学校

市立松戸高等学校、市立習志野高等学校 等

c. 他県公立高校

埼玉県立高校は隣接協定有り

ウ. 私立高等学校

(全日制) 専修大学松戸高等学校、二松学舎大学柏高等学校 等

(定時制) 中央大学附属高等学校、駿台学園高等学校 等

(通信制) 科学技術学園、NHK学園 等

② 国立高等学校について

国立高等学校は主に国立大学の附属高校です。私立大学の附属高校と違い、そのままその大学に進学できる制度はありません。なお、松戸市から受験可能な国立高等学校は、

・東京学芸大学附属高等学校

・東京工業大学附属科学技術高等学校

・お茶の水女子大学附属高校

・筑波大学附属高等学校

・東京芸術大学音楽学部附属高等学校

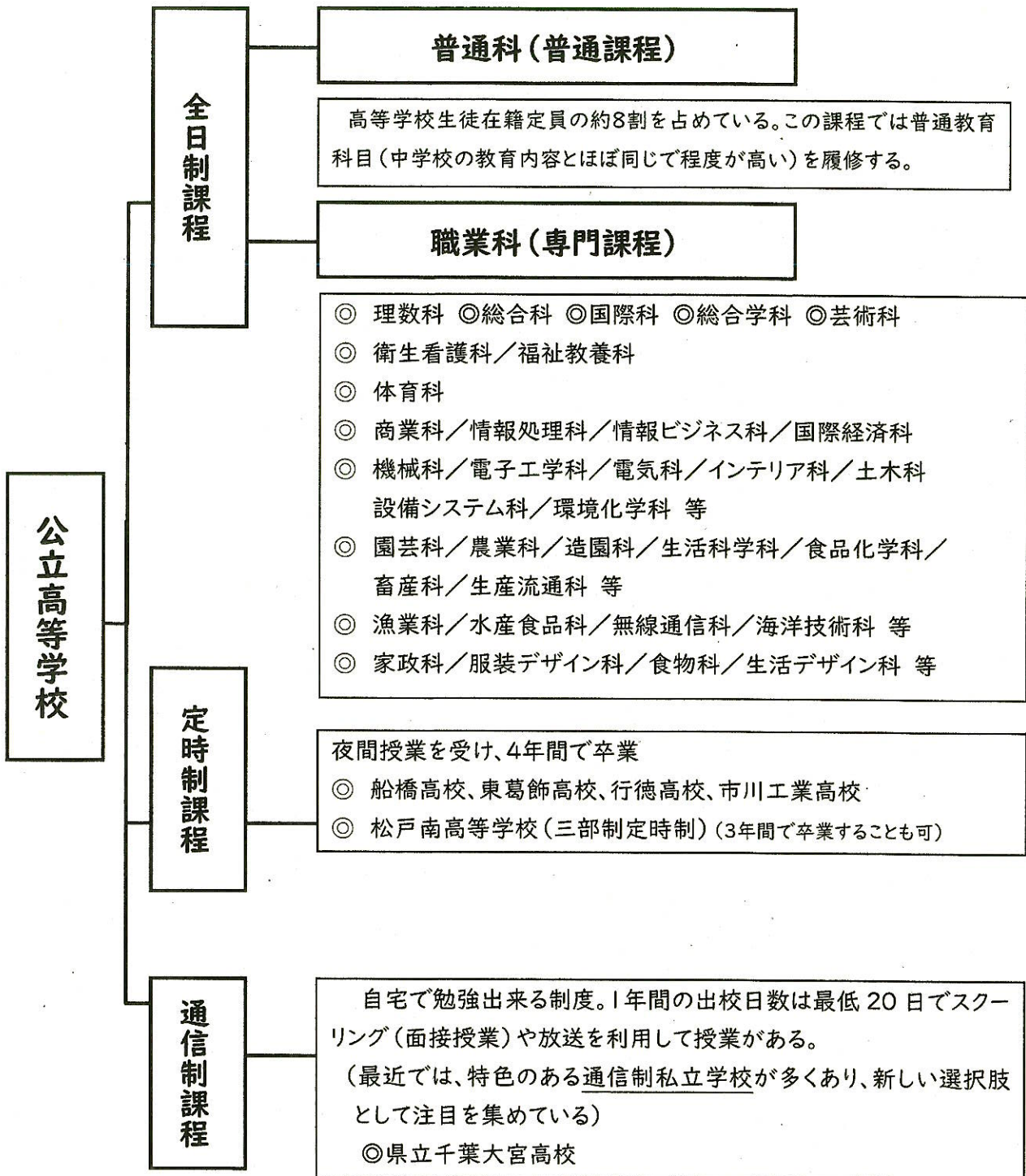
等があり、2月中旬に入試が行われます。

③ 公立高等学校について

公立高等学校には、県が設置する県立高等学校と、各市が設置する市立高等学校があります。公立高校は、原則として文科省の指導要領に従い、どの学校も同様なカリキュラムを実施していますが、実際の教育内容は入学してきた生徒の学力レベルにより大きく異なります。

県立高校は、一部を除いて男女共学です。普通科には学区制があります。専門課程には学区制はなく、全県学区となります。

公立高等学校（県立・市立高等学校）



④ 私立高等学校について

私立高等学校には、以下のような様々な特徴があります。

(ア) 特色のある教育が受けられる

私立では、それぞれ設立者の建学精神があります。人格と信念の教育、実学を目的とする教育、宗教に根底を置く教育、女子教育の完成を理想とするなど多種多様です。

また、宗教教育も実施している高校もあります。

(イ) 男女別学

男子校、女子校と男女別学の高校があります。男子校・女子校の一部が共学校へ変更している高校もあります。

(ウ) 中高一貫教育がなされる

中学と高校を併設している高校もあります。徹底した進学指導等がなされ、特に進学校の場合、中学で高校の学習内容にまで進む学校もあります。

(エ) 習熟度別学級編成や特待生制度

習熟度別学級編成を行っている高校もあります。入学金や授業料を免除して成績優秀な生徒のために特待生制度を設けている高校もあります。

(オ) 通学区域に制限がない

公立高校と異なり、通学区域に制限がありません。千葉・東京・埼玉・茨城の高校を受験する生徒もいます。全寮制の高校や、希望者に寮を提供する高校があり、遠方からの受験や転居等にも対応している高校もあります。

(カ) 大学や短大付属系列の高校はその大学にそのまま進学できることがある

高校を卒業すると付属の大学へ進学できる高校、定められた基準に応じて大学へ推薦入学できる高校等があります。

(キ) 施設や設備等が充実している

冷暖房完備、Wi-Fi 設備、電子図書貸し出し、学食等、設備が充実している高校があります。

(2) 高等専門学校について

・5年制で、高度な工業技術者の養成を目指します。

・3年修了時には、高等学校卒業資格がもらえ、大学受験も可能になります。また、5年修了時には、大学3年生への編入制度があります。

・近隣には、「国立木更津高専」(木更津市)、「都立産業技術高専」(荒川区)がある。

○ 木更津工業高専(国立)

・学科 機械工学科 電気工学科 土木工学科 電子制御工学科 情報工学科

・入試について(昨年度)

推薦入試 1月下旬(作文・面接・書類審査) 発表 1月末

一般人試 2月下旬(5教科・調査書) 発表 2月末

(3) 専修学校について

- ・高等課程(中卒者)および一般課程(高卒者)がある。
→ 高等専修学校ともいう。
- ・専門性を伸ばすための知識や技能が習得できる。
- ・工業、商業(IT・簿記会計)、社会福祉、ファッション(理容・美容・ネイル)、調理、芸能(声優・アニメーション)などの様々な分野がある。
- ・技能連携制度により、通信制高校に同時入学し、3年修了時に高卒資格を得られる学校もある。
(通信制高校と技能連携校を同時入学する)
- ・近隣には、「野田鎌田学園」「中央自動車大学校高等課程」「パリ総合美容専門学校」などがある。

(4) サポート校について

- ・サポート校は、通信制高校の卒業を、サポートすることを目的とした学校。
- ・通信制高校に同時入学し、3年修了時に高卒資格を得られる。
- ・週1日コース～6日コースなど登校する日数(コース)を選択可能な場合がある。
- ・選択授業では、スポーツ・アート・芸能などのコースを設置する学校もある。
- ・学び直しなど、1人ひとりへの細やかな対応がある。
- ・近隣に「KTC おおぞら高等学院」「トライ式高等学院」「興学社高等学院」などがある。

(5) その他の学校について

① 自衛隊学校(神奈川県三浦市)

- ・「陸上自衛隊高等工科学校」は高等学校の普通科と同等の教育(神奈川県立高通信制に同時に入学)を受け、併せて技術的な識能を有する陸曹として必要な各種技術の専門教育、防衛基礎学や各種訓練を受ける。全寮制男子校。

② 企業学校

- ・企業を支えるモノづくりのプロ(社員)の養成を目指す。卒業と同時に社員扱いとなる学校と中卒で各企業に入社、社員として企業内教育を受けるための学校がある。

③ 高等技術専門学校(技専)

- ・普通職業訓練で長期間及び短期間の訓練課程のものを行うための施設。
- ・県の職安(ハローワーク)が運営する学校で、授業料は無料の学科もある。
- ・近隣では、「我孫子技専造園科(6ヶ月)」「船橋技専金属加工科(9ヶ月)」がある。

(6) 就職について

① 就職の心構え

自分自身の適性・能力・身体・趣味などを考慮にいれ、自分にあった職種を見つけ、また、同じ職種であっても、いくつかの会社の内容・安定性・将来性等を検討した上でどの会社に就職するかを決定しましょう。そこで学校では、生徒と保護者、そして学級担任などが一緒になって職業安定所(ハローワーク)の職員と面接、相談し、最近の就職情勢や生徒の能力適性などを検討して、よりよい就職先を見つけだすために努力をしています。

② 会社(就職先)の選び方

あらゆる角度から検討を加え、決定して行きましょう。また、職業安定所に相談しておくことは、大切です。

- ・自分の適性、能力などを考慮し、職種を決定しましょう。
- ・その職種についていろいろな会社の中から好ましい条件に合った会社を選びましょう。
- ・親子で十分な話し合いを持ち決定しましょう。

③ 就職までの手順(予定)

5月	進路希望調査
7月～8月	職場見学(学校職員、保護者対象)
9月～10月	職業適性検査
10月	求人一覧表の配布
10月～11月	職業相談(ハローワークとの面接)
12月	応募書類の提出(希望する会社へ)
1月上旬	入社試験
1月中旬	合否発表通知
2月	就職先の確認 就職者激励会
3月下旬～4月上旬	入社式

④ 就職先を決める前に

就職先を決めるにあたって、次のことを詳しく知っておく必要があります。

事業所名、所在地、産業名、仕事の内容、資本金、就業時間、従業員数、休日、会社の経済状況、将来性、賃金(日・月給の別、金額、手取り、手当、昇給、賞与等)、福祉・厚生施設、定時制進学の有無、先輩の就職状況、赴任の方法、宿舍の状況 等

⑤ 働きながら学ぶために

(1) 定時制高校について

定時制高校は夜間に授業を行います。授業が17時以降になるため、昼間働いて通学する生徒が多くいます。また、年齢層に幅があります。四年で卒業になります。通学可能な定時制高校を以下に紹介します。(定時制の入試は全日制の入試と同様に実施されます。)

【定時制のある学校】

船橋高校、東葛飾高校、行徳高校、市川工業高校(機械電気・建築)
三部制の定時制: 松戸南高校(午前・午後・夜間)

(2) 通信制高校について

家庭で勉強し単位を修得できる制度です。スクーリングや放送を利用する授業等があります。定時制以上に向学心が必要です。また、最近では高等専修学校等に通いながら、通信制を利用する生徒もいます。

3 進学先選択のポイント

【高校選択の基本的な考え方】

条件を考えて選ぶ

保護者と生徒が相談して、まず学校の種別を決め、その後、特定の志望校を決めます。もし親と子の考え方が違う場合はよく話し合ってお互いの考えを理解しあい、最終的には一致するようにならなければなりません。

なるべく1校だけに限定しないこと

高校進学には選抜試験があります。必ず合格するという保証はありません。1校だけにするとときには、担任等とよく相談して、志望校を決定していきましょう。

担任との協力

自分に合った学校を選ぶために、担任とよく相談し、様々な条件を考慮し、総合的に志望校を決定していきましょう。

(1) 自分の意志で選ぶこと

仲の良い友達が希望しているから、学校名を聞いて良いと思ったから、先輩が行っているから等、安易な理由やうわさに流されてはいけません。また、間際になってあわてて決め、将来に悔いを残すような事にならないようにしましょう。自分自身の適性・将来の希望等を十分に考え、担任の先生や保護者の方と相談し、様々な角度から志望校について調べ、高校を選ぶことが大切です。

(2) 学力とともに自分に合った学校を選ぶこと

中学時代は常に成績上位にいた生徒が高校では下位になってしまい、学習だけではなく高校生活全体に意欲を失ってしまうケースがあります。逆に、高校へ入学後トップクラスとなり、意欲的に高校生活を送るケースもあります。単に学力だけではなく、入学したい高校の校風を理解し自分に合った高校を選ぶことを十分考慮しなければなりません。さらに将来、進学を考える時、公立を目指すのか、大学付属の私立を目指すのか。又、共学・男子校・女子校の選択なども考慮しましょう。

(3) 高校の教育内容を知る<チェックポイント>

① 校風・教育の特色(特に私立は様々な特色を出しています)

伝統 教育方針 宗教教育 進学・就職指導 等

② 教育課程(カリキュラム)

- ・公立の普通科はほぼ同一の内容ですが、近年は普通科の中に、体育健康コース・情報処理コースなどのコース制を導入し、時間数を調整して特色を出している学校があります。
- ・私立高校には学校により、カリキュラムが異なります。また、中高一貫教育の学校では、特色のあるカリキュラムの学校もあります。パンフレットやホームページ等で必ず確認しましょう。
- ・宗教・武道・作法等、公立高校では行わない授業をする私立高校もあります。
- ・職業科(専門課程)に進む場合は、専門的な教科が入ってくるため、公立・私立を問わず十分調べるようにしましょう。

③ 施設・環境

- ・校舎、教室、特別教室、食堂、グラウンド、体育館等の施設は、学校によりかなり異なります。
- ・1クラスの定員は、学校によって違います。少人数を実施している学校もあります。
- ・学校周辺の環境も大切です。

④ 特別活動

充実した高校生活を送るためには、生徒会活動・部活動など、自分が参加したいと思っているものがどのように活動しているか調べましょう。特に部活動で技能を伸ばしたい人は、施設・指導者・活動状況・実績・費用なども知っておいた方が良いでしょう。

⑤ 卒業生の進路

高校によって、卒業生の進路状況は違います。また、高校卒業後の進路についても十分調べましょう。就職状況はどうか、自分の希望する大学にどのくらい進学しているか、指定校推薦枠はあるか、現役大学合格者の割合等、高校選択の判断材料の1つにしましょう。

(4) 通学について

常盤平駅、五香駅からは、新京成線で習志野方面、新鎌ヶ谷駅で東武アーバンパークライン、八柱駅で武蔵野線に乗り換えて、埼玉・船橋・千葉方面、さらに松戸からは、常磐線で茨城・柏・東京方面など、かなり広い範囲の高校へ通学する事が可能です。しかしながら、混雑の中、通学に時間がかかり、乗換が多かったりすると、負担になることがあります。また、交通費が多額になることもあります。それらのことも考えて志望校を選ぶようにしましょう。

(5) 高校への受験料・学費について

私立高校に比べ、公立高校の授業料等は安いです。ただし、カリキュラムの内容や、進路指導の細やかさ、利用できる施設、交通費や、塾・予備校の費用などさまざまな要素を含めてトータルに考えていくことが大切です。成績等によって、入学金や授業料を減免する特待生制度が私立高校ではあるので、よく調べる必要があります。

○受験料

公立高校 ⇒ 全日制2,200円 定時制950円

私立高校 ⇒ 20,000円前後

○学費

公立高校 ⇒ 入学金:5,650円 授業料:9,900円/月(年間118,800円)

私立高校 ⇒ 入学金:15万円~50万円 授業料:15,000円~45,000円/月

※公立・私立とも「高等学校就学支援制度」があり、年収910万円未満の家庭で、申請をした家庭に月9,900円が支給(学校に)される。詳細は入学後に高校から連絡があります。

※私立高校では、2020年入学生から、年収590万円未満の家庭に対し県の支援制度が適用され、授業料がほぼ減免される。

※私立高校に合格すると、入学金等を納入しなくてはなりません。第一希望が公立高校だった場合、第1志望校の結果が出るまで納入を待ってくれる学校・待ってくれない学校・一部納入する学校等様々です。また延納手続きが必要な場合があります。期日までに入学金等を納入しないと、合格が取り消されてしまうことがあります。

(6) 第2志望・第3志望高校をよく考えて決めよう

第2志望以下の高校も、3年間満足のいく高校生活を送ること、後悔せずに3年間を過ごすことのできる学校を、真剣に調べ、よく考えて、志望校を決定していくようにする必要があります。

公立高校の場合、出願後に志願変更期間があり、出願状況を見て、最初に出願した高校から、他の高校への志願変更が可能です。倍率だけを見て受検し、合格したのは良いが、その高校についてよく分かっておらず、入学してからその高校が合わないと感じることもあります。公立の受検校を考える際は、複数校を見学、検討しておくことが大事なこととなります。

4 公立高校について

(1) 入学者選抜について

- ・令和3年度入学者選抜より、受検が1回に変更となりました。
- ・公立高校の併願は認められていません。
※転居等で他県公立高校を受検する場合は、決定次第、早急にご連絡ください。
- ・他県を受検することは原則できません。
※松戸市と隣接協定を結んでいる埼玉県(三郷市、吉川市等)の一部公立高校は受検できます。
- ・公立高校と私立高校、国立高校との併願受検は認められています。
- ・普通科は学区制が設けられており、該当学区および隣接学区を受検できます。
- ・専門学科(総合学科を含む)は、県内全域の学校を受検できます。
- ・各校の「選抜・評価方法」は、10月19日(水)から各高校HPで公開されます。
- ・前期・後期選抜のときと同様、「特別入学者選抜」があります。(外国人選抜、海外帰国生徒等)
【外国人選抜】
 - ・外国籍を持ち、入国3年未満の者に受検資格を与えられます。
 - ・英語または日本語の「作文」+「面接」で実施します。学科検査は課しません。
 - ・検査は1日目午後のみ(1日で実施)。【海外帰国生徒】
 - ・海外在住期間2年以上4年未満 ⇒ 帰国後1年以内の者に受検資格を与えられます。
 - 海外在住期間4年以上 ⇒ 帰国後2年以内の者に受検資格を与えられます。
 - ・国数英3科(英60分・他50分)+ 高校が定める検査を1日目に行う(1日で実施)。

地域連携アクティブスクール

① どんな特徴？

中学校で充分力を発揮しきれなかったけれども、高校では頑張ろうという意欲を持った生徒に、企業や大学など地域の教育力を活用しながら、「学び直し」や「実践的なキャリア教育」を行い、自立した社会人を育てる学校。

② どの高校？

近隣では、県立流山北高校（東武線江戸川台）、船橋古和釜高等学校（新京成線北習志野）。他に、天羽高校（富津市）、泉高校（千葉市）がある。

③ 受検科目は？

国語・数学・英語 3 教科の学力検査を実施。2日目に面接や作文等の検査がある。

三部制定時制高校

① どんな特徴？

「午前部」「午後部」「夜間部」の3部を設置する単位制定時制の学校。定時制の課程は一般的に夜間の4時間授業を4年間かけて履修するが、授業の履修次第では3年で卒業することも可能。

《例》午前部に所属し、午後部の5・6校時を履修。

② どの高校？

松戸南高校（JR線東松戸）、生浜高校（千葉市）の2校がある。

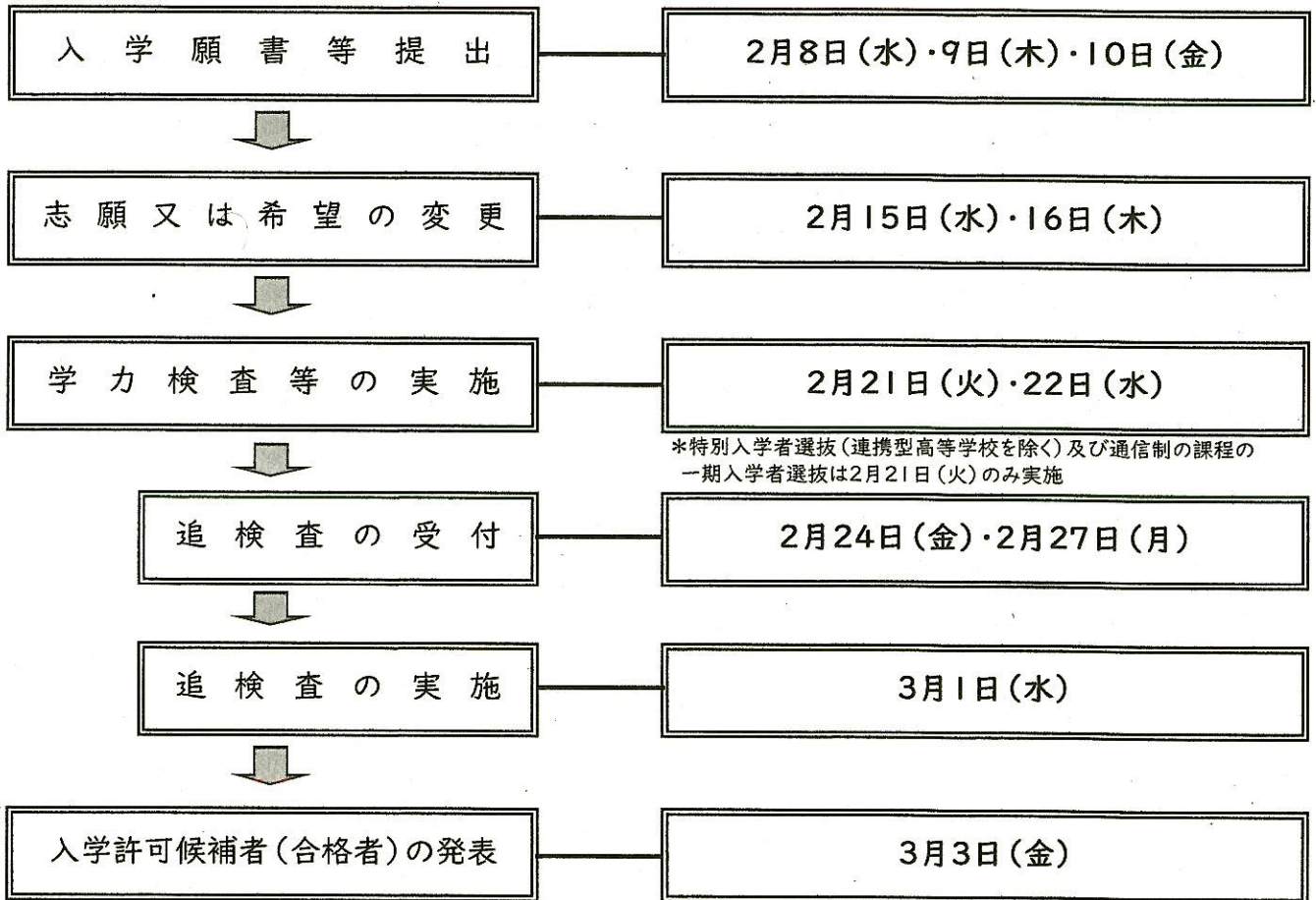
③ 受検は？

- ・一般入学者選抜の他に8月末に出願する「秋季入学者選抜」がある。
- ・昨年度から、「得点に倍率をかける教科の申請書」の提出は不要になった。

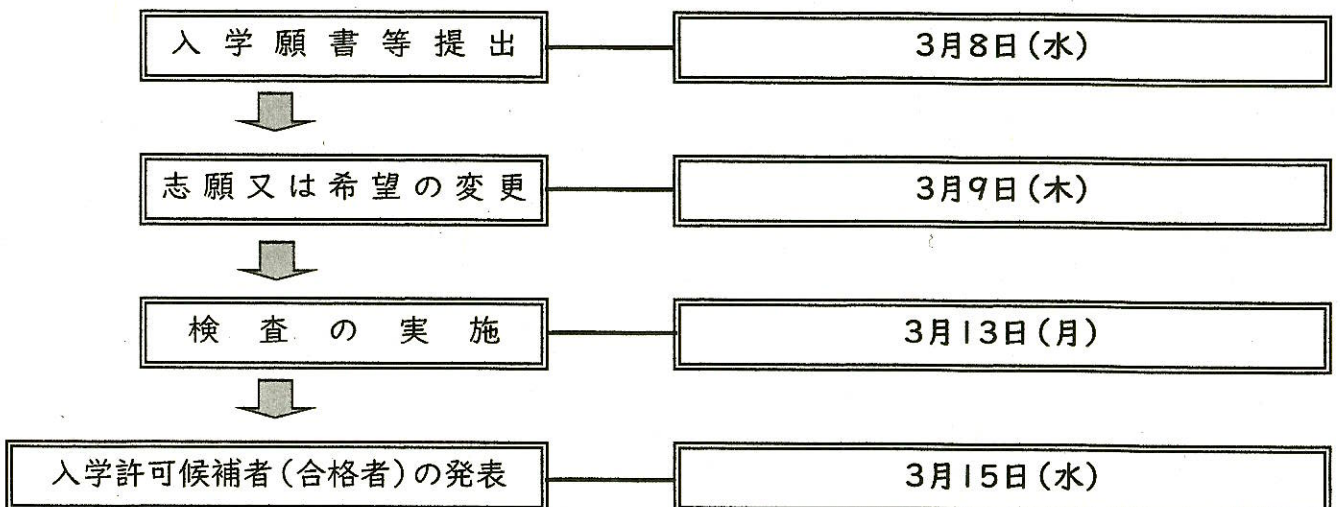
時間		午前部	午後部	夜間部
8:40	I	1		
10:15		2		
		SHR・清掃		
10:35	II	3	3修制向け授業	
12:10		4		
		SHR		
12:55	III	3修制向け授業	5	
14:30			6	
			SHR・清掃	
14:50	IV		7	3修制向け授業
16:25			8	
17:10	V			9
18:40				10
				休憩・SHR
19:15	VI			11
20:45				12

(2) 令和5年度(来春) 千葉県公立高等学校 選抜日程

I. 一般入学者選抜・特別入学者選抜・地域連携アクティブスクールの入学者選抜及び通信制の課程の一期入学者選抜



II. 第2次募集(地域連携アクティブスクールを含む)及び通信制の課程の二期入学者選抜



(3) 一般入学者選抜の検査内容と選抜方法

【本検査】

① 検査の内容等

	検査の内容		時間・配点
第1日	【学力検査】 国語・数学・英語	国語は、放送による聞き取り検査を含む。 英語は放送によるリスニングテストを含む。	国語数学は50分、英語は60分 各教科100点
第2日	【学力検査】 理科・社会		各教科50分 各教科100点
	【学校設定検査】	各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、適性検査、学校独自問題及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。	検査の時間等については、各高等学校が定める。

※定時制の課程において、学力検査を3教科(国語・数学・英語)に定め、学校設定検査を第1日の学力検査終了後に実施した場合、検査期日を第1日の1日のみにすることができます。

【学校設定検査】の各検査の概略

●面接

学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは一般常識を問う検査。

●集団討論

複数の受検者に対して、同一のテーマを与え、司会者を定めなくて自由に討論させる検査。

●自己表現

決められた時間内において、あらかじめ受検者が申告するなどした実施形態によって発表をさせる検査。

●作文

指示された題名のもとに、(自由に書かせることを含む)文書を作成させる検査。

●小論文

ある文章や資料等を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの考え方等を見る検査。

●適性検査

専門学科が、その特色に応じて行う実技等の検査で、各学校が指定する実施形態によって行う検査。

●学校独自問題

基礎・基本の定着を見る問題、思考力・応用力を見る問題又は教科横断的な総合問題による検査。

●その他の検査

上記以外で、あらかじめ学校が示した方法による検査。

例・県が作成する思考力を問う問題 ・集団に課題を与えて、活動を観察する検査(集団適性検査)

② 検査の時間割

本検査	第1日			第2日		
	9:30 ~ 9:40	受付・点呼		9:30 ~ 9:40	受付・点呼	
9:40 ~ 9:55	注意伝達事項		9:40 ~ 9:55	注意伝達事項		
10:10 ~ 11:00	国語		10:10 ~ 11:00	理科		
11:20 ~ 12:10	数学		11:20 ~ 12:10	社会		
12:10 ~ 12:55	昼食・休憩		12:10 ~ 12:55	昼食・休憩		
13:05 ~ 14:05	英語		13:05 ~ 16:30	学校設定検査		

※3教科の学力検査を実施する定時制の課程にあつては、学校設定検査を第1日の午後2時20分以降又は第2日の午前9時30分以降に行うものとします。

③ 選抜方法

ア 基本的選抜方法（令和4年度入学者選抜では、全日制全体の約95%がこの方法で選抜をおこないました。）

「千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」には、次のように定められています。

- 中学校の校長から送付された調査書等の書類の審査、学力検査の成績及び学校設定検査の結果を選抜の資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。
- 調査書の必修教科の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項、学力検査の成績、学校設定検査の結果等の選抜の資料は原則として得点（数値）化するものとし、選抜のための各資料の得点を合計した「総合点」に基づき総合的に判定する。選抜の資料の配点は各高等学校において別に定める。
- 各高等学校の選抜の手順、選抜のための各資料の項目及び配点等を定めた「選抜・評価方法」は、各高等学校のウェブページに掲載する。

上記の文章より、選抜は次の4つの資料で行われます。それぞれを数値化し、合計した「総得点」に基づいて合否を決めます。

【学力検査の成績】

【調査書中の必修教科の全学年の評定合計値】

【調査書の記載事項】

【学校設定検査の結果】

それぞれの選抜資料は、学校・学科の特色や相対的なバランスも考慮し、次のように定められています。但し、市立高等学校においては、当該市教育委員会が定めるところによります。

●【学力検査の成績】

学力検査を実施した各教科の得点を合計し、「学力検査の得点」とします。5教科を実施した場合は、各教科100点ですので、基本的には500点満点となります。但し、「理数に関する学科」、「国際関係に関する学科」については、特定の教科を1.5倍又は2倍した値をその教科の得点とみなすことができます。

特定の教科「理数に関する学科」…数学及び理科 「国際関係に関する学科」…英語

●【調査書中の必修教科の全学年の評定合計値】

調査書の教科の学習の記録における、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語（外国語については、必修及び全ての生徒が共通に履修するもの、現実的には英語）の評定の全学年の合計値（135点満点、45点×3年間）について、各高等学校が定めるKの数値を乗じ「調査書の得点」とします。Kの数値は、原則として1とし、各高等学校において学校の特色に応じて0.5以上2以下の範囲内で定めます。

調査書の得点 = 必修教科の全学年の評定合計値（135点満点）× K（0.5～2、原則1）

●【調査書中の記載事項】

調査書中の記載事項（部活動、生徒会活動、資格など）について、各高等学校は学校の特色に応じて50点を上限として、上記の「調査書の得点」に加点することができます。

●【学校設定検査の結果】

「学校設定検査の得点」の配点は、各高等学校が設定した検査数により決められています。

設定した検査数が1つの場合………10点以上100点以下

設定した検査数が2つ以上の場合…合計得点の上限150点

※専門学科において適性検査を2つ以上実施し、さらに面接を実施する場合には、面接の配点は50点を上限とし、かつ学校設定検査の合計得点は200点を超えないものとします。また、学校設定検査を「その他の検査のうちの県が作成した思考力を問う問題」にした場合の配点は、100点とします。

基本的選抜方法

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点 理数に関する学科(数学理科) 国際関係に関する学科(英語) 1.5倍又は2倍可 ○○○点	135点 × K K=0.5~2 原則I △△△点	0~50点 県大会出場など 英検・漢検など 生徒会役員など □□点	1検査 …10~100点 2検査以上…上限150点 *適性検査2つ以上+面接実施の場合 面接50点まで、合計得点の上限は200点 ◇◇点	◎◎◎点

イ 2段階による選抜方法（令和4年度入学者選抜では、全日制全体の約5%がこの方法で選抜をおこないました。）
 一般入学者選抜では、上記の「基本的選抜方法」に加えて各高等学校の特色を重視した選抜を行う、といった2段階での選抜を行うことができます。2段階での選抜を行う場合は、2段階目で選抜する人数は、募集人員の20%以下としなければなりません。

令和4年度入試で「2段階による選抜方法」を導入した学校・学科(11校12学科)

学校名	学科名	学校名	学科名	学校名	学科名
若松	普通	松戸六実	普通	安房	普通
幕張総合	総合学科	四街道	普通	君津	普通
市立習志野	普通	一宮商業	商業・情報処理	京葉	普通
市立船橋	普通	大原	総合学科		

2段階目の選抜では、1段階目の基本的選抜方法で得点(数値)化した【学力検査の成績】以外の【調査書中の全学年の評定合計値】、【調査書中の記載事項】及び【学校設定検査の結果】に、次のk1、k2又はk3の数値を乗じた得点を、選抜の資料とすることができます。

- k1 … 調査書中の全学年の評定合計値にKを乗じた数値に乘じる係数
- k2 … 調査書中の記載事項の加点に乘じる係数
- k3 … 学校設定検査の得点に乘じる係数

k1、k2及びk3の数値は、それぞれ1以上とし、各高等学校が定めます。またk1、k2及びk3を乗じた後の各資料の配点は、「基本的選抜方法」のそれぞれの上限を超えないものとします。

調査書中の全学年の評定合計値の上限…Kの数値が2の場合の270点
調査書中の記載事項の上限……………50点
学校設定検査の得点の上限……………1検査の場合100点、2検査以上の場合150点 適性検査2つ以上+面接の場合200点

2段階による選抜方法の例

A高校 普通科 募集人員280名

●1段階目の選抜(基本的選抜方法) 募集人員の80%、 $K=1$ 、学校設定検査:面接

次の表の各資料の配点及びそれらを合計した総得点に基づいて、募集人員の80%(224名)までを選抜します。

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点	135点× $K(1)$	25点上限	面接官3名 各10点×3	690点
500点	135点	25点	30点	

●2段階目の選抜(学校の特色を重視した選抜方法) 募集人員の20% $k1$ 及び $k2=2$ 、 $k3=3$

募集人員の残り20%(56名)については、次の表の各資料の配点及びそれらを合計した総得点に基づいて選抜します。

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点	$[135点×K(1)]$	25点	30点	910点
	×	×	×	
	$k1(2)$	$k2(2)$	$k3(3)$	
500点	270点	50点	90点	

【追検査】

① 受験資格

インフルエンザ罹患等による急な発熱で別室での受検も困難である等、やむを得ない理由により本検査を全く受検することができなかつた者を対象とします。本検査を一部でも受検した者は、追検査を受検することはできません。

② 連絡、提出書類及び提出先

追検査を志願する者の在籍する中学校の校長等は、追検査受検願等の提出期間の前日までに、当該志願者の志願した高等学校の校長に電話により連絡しなければなりません。

また、追検査を志願する者は次の書類を、志願した高等学校の校長に提出しなければなりません。

- ・本検査出願時に交付された受検票

- ・追検査受検願

- ・本検査を受検することができなかつた理由を証明する医師の診断書

※医師の診断書を提出できない場合には、在籍中学校の校長が作成した本検査不受検理由証明書を在籍中学校の校長の確認を経て、志願した高等学校の校長に提出します。

③ 検査の内容

5教科(国語・数学・英語・理科・社会)又は3教科(国語・数学・英語)の学力検査を、本検査とは別の問題により実施します。学力検査の時間は、国語・社会・数学・理科は各50分、英語は60分とし、配点は各教科100点とします。国語の問題は放送による聞き取り検査を含み、英語の問題は放送によるリスニングテストを含みます。

学校設定検査の実施については学校ごとの裁量とし、実施する場合にあっては、本検査に準じた学校設定検査を実施します。検査は1日のみで実施されます。

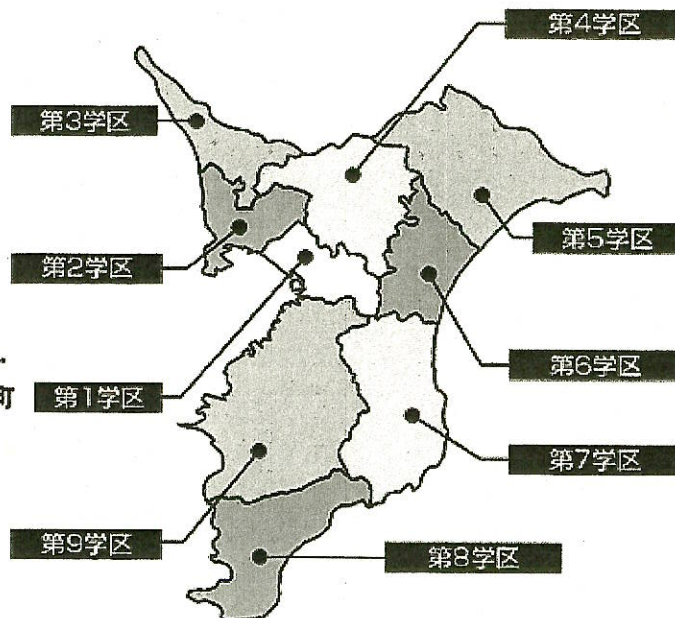
④ 追検査の結果

追検査の選抜結果については、本検査の結果と併せて発表されます。

(4) 通学区域

県立千葉女子高校、県立幕張総合高校、県立木更津東高校と定時制の課程、通信制の課程、および専門学科は、志願に関する学区制限はありません。

- 第1学区 千葉市
- 第2学区 市川市・船橋市・松戸市・習志野市・八千代市・浦安市
- 第3学区 野田市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市
- 第4学区 成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町
- 第5学区 銚子市・旭市・匝瑳市・香取市・神崎町・東庄町・多古町
- 第6学区 東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・横芝光町・芝山町
- 第7学区 茂原市・勝浦市・いすみ市・長柄町・長南町・睦沢町・一宮町・白子町・長生村・大多喜町・御宿町
- 第8学区 館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町
- 第9学区 木更津市・市原市・君津市・富津市・袖ヶ浦市



【松戸市からの受検可能区域】

金ヶ作中学校は、第2学区ですので、第1・第3・第4学区にある県立高等学校普通科の受検が可能です。市立高等学校については、市立松戸、市立習志野、市立柏、市立船橋の受検が可能です。(※市立千葉、市立稲毛は専門学科のみ受検が可能です)

【松戸市から普通科の受検が可能な公立高等学校一覧】

学区	所在市町村	所在高校名
第1学区	千葉市	千葉、千葉女子、千葉東、千葉商業、京葉工業、千葉工業、千葉南、検見川、千葉北、若松、千城台、生浜、磯部、泉、幕張総合、柏井、土気、千葉西、犢橋
第2学区	船橋、松戸、市川、浦安、習志野、八千代	八千代、八千代東、八千代西、津田沼、船橋、薬園台、船橋東、船橋啓明、船橋芝山、実籾、船橋二和、船橋古和釜、船橋法典、船橋豊臣、船橋北、市立習志野、国府台、国分、行徳、市川東、市川南、浦安、浦安南、松戸、小金、松戸国際、松戸南、松戸六実、市川工業、市川昂、松戸馬橋、松戸向陽、市立松戸、市立船橋
第3学区	野田、流山、我孫子、柏、鎌ヶ谷	鎌ヶ谷、鎌ヶ谷西、東葛飾、柏、柏南、柏陵、柏中央、柏の葉、沼南高柳、沼南、市立柏、流山南、流山北、流山、流山おおたかの森、野田中央、関宿、清水、我孫子、我孫子東
第4学区	白井、富里、成田、佐倉、八街、印西、四街道	白井、成田国際、成田北、富里、佐倉、佐倉東、佐倉西、佐倉南、四街道、四街道北、印旛明誠、成田西陵、下総、八街

(5) 普通科内に設置されているコース

公立高校の普通科では、1年次においては共通科目を履修しますが、2年次からは生徒の興味や適性、進路希望に応じてコース制をとっている高校があります。文系コース・理系コースを除き次のようなコースが設置されています。

【国際に関するコース】

学区	学校	コース	備考
1	若松	国際教養	英語の授業を20単位履修可能。コミュニケーションに重点を置いた授業。
1	柏井	国際コミュニケーション	ALTの常駐校。中国語や韓国語も学習できます。
2	市川東	英語	高大連携プログラム(神田外語大学、麗澤大学等)を実施。
5	匝瑳	国際理解	中国語か韓国語の選択が可能。簡単な日常会話や音楽やドラマなどを鑑賞。
7	茂原	英語	3年次では、英語の授業を最大で10単位履修できる。
9	君津	英語	英語学習に重点を置き、「英語理解」と「時事英語」などの専門科目も学びます。

【商業に関するコース】

2	船橋豊富	情報	各種資格取得に挑戦しつつ、より高度な情報活用能力を身に付けることができます。
3	沼南	情報ビジネス	実社会に即対応できる専門的な知識と技術を習得します。
3	関宿	情報ビジネス	商業系の科目の学びに重点を置き、資格を取得して就職したい生徒を応援します。
4	佐倉南	情報	情報科目の単位数が多い。授業は複数教員によるチームティーチング。
5	多古	ビジネス	商業や情報関連の科目を学び、簿記やビジネス文書検定などの資格取得を目標とします。
6	松尾	ビジネス	商業科の科目を多くしています。
6	九十九里	ビジネス基礎	コース制授業を実施。ビジネス文書実務検定等の資格取得を目指します。
9	天羽	実務	ビジネス科目や情報処理について学び、産業社会で生かせる能力を身につけます。
9	市原	商業	簿記、情報処理等の科目を学ぶ他、課題研究にも取り組みます。

【家庭に関するコース】

6	松尾	生活	商業科・家庭科の科目を多くしています。
6	九十九里	生活デザイン(服飾、食物)	家庭科技術検定(被服製作・食物調理)等の資格取得を目指します。
9	天羽	生活	栄養・調理・ファッション・保育・幼児教育・福祉などについて学びます。

【福祉に関するコース】

1	横橋	福祉	令和2年度設置。介護職員初任者研修の終了を目指します。
2	船橋豊富	福祉	福祉に関する専門的な知識はもちろん、介護技術の習得も目指しています。
2	松戸向陽	福祉	第3年次に、福祉の専門科目を10単位履修できます。
3	我孫子東	福祉	地域の方々の協力により、介護や福祉の考え方について学びます。
4	佐倉西	福祉	2年生で週4時間、3年生で週6時間を福祉の授業にあてます。
5	小見川	福祉	介護分野だけでなく、障害者福祉、児童福祉など広い分野について学びます。
6	松尾	福祉	将来、社会福祉で活躍したい人向けのコースです。
9	市原	福祉	卒業までに介護職員初任者研修を修了することができます。

【芸術・スポーツに関するコース】

2	津田沼	音楽	2・3年生で各6時間の音楽授業を履修し、専門的知識や技術を高めます。
3	沼南高柳	芸術	音楽・美術・工芸・書道から1科目選択。2年次週4時間、3年次6時間の授業。
3	流山南	スポーツ健康	体育に関する科目を多く学習します。スキー実習があります。
3	沼南	健康スポーツ	実習や体験授業が充実。フードデザインの授業も実施しています。

【人材育成等を目指したコース】

1	千葉女子	教員基礎	「せんせい」という仕事を知り、教育者になるための素養を高めることができます。
3	我孫子	教員基礎	教育に関する科目を設け、体験を重視した学習や外部講師による講座を実施します。
8	安房	教員基礎	2年次から「教員基礎」を履修し、3年次には「課題研究」に取り組みます。
9	君津	教員基礎	教育に関する授業や実習を行い、教員を目指すための体系的な学びを展開します。
2	市川南	保育基礎	保育士や幼稚園教諭を目指す人対象のコースで、保育の基礎を学びます。
4	四街道北	保育基礎	令和2年度設置。実習等を通して保育士等としての基礎的素養を身に付けます。
3	東葛飾	医歯薬	高い倫理性と豊かな人間性、医療系大学進学のための確かな学力を育成します。
4	成田北	医療	医療分野についての学習を通して、医療従事者として必要な資質の育成を目指します。
8	長狭	医療・福祉	地域の病院や福祉施設などと連携して、医療・福祉分野で活躍する人材を育てます。

【その他のコース】

3	沼南	環境サイエンス	古代米を育てるなどの、体験授業が充実。卒業研究にも取り組みます。
3	沼南	文化コミュニケーション	新聞などを題材に、国際理解や社会問題に取り組みます。

(6) 学区別／専門学科設置高等学校

* 印はくくり募集

	学科名	学区別設置高校								
		第1学区	第2学区	第3学区	第4学区	第5学区	第6学区	第7学区	第8学区	第9学区
総合	総合学科	幕張総合	小金		八街			大原	安房拓心	君津青葉
理数	理数	市立千葉	船橋	柏	佐倉	佐原	成東	長生		木更津
						*市立銚子				
						匝瑳				
外国語系学科	国際教養	市立稲毛	松戸国際				東金			
	国際人文		市立松戸							
	国際				成田国際					
	国際コミュニケーション			流山おおたかの森						
商業系学科	商業	*千葉商業	市立習志野	*流山		*銚子商業	*東金商業	*一宮商業	館山総合	*君津商業
			市立船橋							
	情報処理	*千葉商業		*流山	成田西陵	*銚子商業	*東金商業	*一宮商業		*君津商業
	情報理数			柏の葉	下総					
	情報コミュニケーション									袖ヶ浦
工業系学科	工業								館山総合	
	理数工学	千葉工業								
	機械	京葉工業	市川工業	*清水						
	電子機械	千葉工業				東総工業		茂原樟陽		
	自動車				下総					
	電気	千葉工業	市川工業	*清水		東総工業		茂原樟陽		
	電子工業	京葉工業								
	情報技術	千葉工業				東総工業				
	設備システム	京葉工業								
	環境化学			*清水				茂原樟陽		
	工業化学	千葉工業								
	建築		市川工業							
	建設	京葉工業				東総工業				
インテリア		市川工業								
家政系	家政	千葉女子	八千代						館山総合	木更津東
	調理国際				佐倉東					
	服飾デザイン				佐倉東					
芸術系	芸術		松戸							
看護系	看護	幕張総合								
	福祉教養		松戸向陽							
体育系学科	体育		八千代							
			市立船橋							
	スポーツ科学			市立柏						
農業系学科	農業						大網	茂原樟陽		
	園芸		薬園台	流山	成田西陵	多古				君津市原
					下総	旭農業				
	土木造園				成田西陵			茂原樟陽		
	畜産					旭農業				
	食品科学			清水	成田西陵	旭農業	大網	茂原樟陽		
生物工学						大網				
水産系	海洋					銚子商業		館山総合		

5 私立高校について

(1) 入試日程について (昨年度のもの)

	前期(推薦)入試	後期(一般)入試
千葉私立高	1月17日～	2月15日～(一部の学校で実施)
東京私立高	1月22日～	2月10日～
茨城私立高	1月9日	1月15日～
埼玉私立高	1月22日～	2月1日～

(2) 推薦制度について

単願推薦(A推薦)	【条件】 ①該当私立高を <u>第一希望とし、合格した場合は、必ず入学する。</u> ②該当私立高の <u>推薦基準</u> を満たしている。 ③入学手続き、入学時納付金を速やかに納付できる。 ④中学校長の推薦がある。
併願推薦(B推薦) (第二希望のみ) (公立のみの学校有)	【条件】 ①該当私立高を <u>第二希望とし、第一希望に入学しない場合、合格した場合は、必ず入学する。</u> ②該当私立高の <u>推薦基準</u> を満たしている。 ③延納願の提出や延納金の納付をしっかりと行う。 ④中学校長の推薦がある。
併願推薦(B推薦) (第三希望以下OK)	【条件】 ①上位希望校に入学しない場合、 <u>合格した場合、必ず入学する。</u> ②該当私立高の <u>推薦基準</u> を満たしている。 ③延納願の提出や延納金の納付をしっかりと行う。 ④中学校長の推薦がある。

【推薦基準とは】

①内申基準 → 3教科、5教科、9教科の通知票の評定の合計が、指定基準を超える。

[例]ア高校(進学コース)

A推薦(3科50分+集団面接) → 5科合計13以上かつ9教科合計27以上

B推薦(3科+理社50分+集団面接) → 5科合計15以上かつ9教科合計29以上

[例]イ高校

・進学コース A選抜(面接試験のみ) → 5教科合計17以上

B選抜(3科試験+面接) → 5教科合計18以上

・S特進選抜コース 単願推薦(3科試験+面接) → 5教科合計19以上

併願推薦(3科試験+面接) → 5教科合計20以上

※高校によっては、英語検定・漢字検定等の資格や、皆勤(無欠席・無遅刻・無早退)、部活動大会記録などを内申点に加点できる場合もあります。募集要項で確認ください。

②出欠席基準 → 3年間で○日以内、各学年の欠席が●日以内であること。

[例]ウ高校 出席状況が良好な者(各学年の欠席が原則10日以内)

[例]エ高校 中学3年の欠席日数が20日以内(3年次は11月末日で算出)

6 年間指導計画(進路だより No.3)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学校行事	着任式・始業式 5 入学式 8 学力・学習状況調査 19	生徒総会 25 修学旅行 28-30	林間学園 3,4 体育祭 11	部活動壮行会4 終業式 20 夏季休業 21～	夏季休業～31	始業式 1 立合演説会 29
決定の時期	基本的な選択の完了 ① 就職 or 進学 ② 公立 or 私立 or 専門学校 ③ 全日制 or 定時制 or 通信制			第1希望を絞る ・ 公立高校なら2つ以内に ・ 私立高校なら3つ以内に ・ 併願校を探す (2～3校に絞り, 高校見学を行う)		
進路情報				進路保護者会 7/6	高校訪問、説明会 夏は公立中心	
テスト			学力テスト① 6/21 定期テスト① 6/27, 28			学力テスト② 9/2
面接			二者面談	三者面談① 夏休み中	二者面談	
書類	進路調査① 4/7 - 4/14			進路調査② 7/7 - 7/14		進路調査③ 9/1 - 9/8
				高校見学・体験入学等、申告用紙 随時		
就職	就職希望の確認・検討 希望する職種・定時制への進学可能性					
学習計画	勉強をペースに乗せる ・ 提出物を提出できる力をつける ・ 定期試験に向けて、復習をする ・ 毎日一定時間の勉強時間を確保する			各教科の基礎基本の定着 ・ 不得意科目の克服 ・ 基本的な問題に繰り返し取り組む。(過去の入試問題はまだ)		定期テストと 学力テストに 集中

※日付等に関しましては、感染症による影響で変更となる可能性があります。よろしくお願ひします。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	駅伝壮行会 14 合唱コンクール 21	三者面談11-17 進路検討会 22	入試相談 15～ 成績確認表配布 冬季休業 24～ 私立出願	始業式 10～ 私立入試開始	公立出願 8-10 志願変更 15,16 公立入試 21,22	追検査 1 公立発表 3 二次検査 13
決定の時期	併願校の決定 ・ 推薦を利用するか？ ・ 1校 or 2校？ 第1希望を絞る ・ 公立なら決定 ・ 私立の受け方の決定					
進路情報	進路保護者会 高校訪問 この時期は、私立中心					
テスト	学力テスト③ 10/4 定期テスト② 10/27, 28	学力テスト④ 11/8		★茨城私立 ★千葉私立 学力テスト⑤ 1/11	公立出願 2/8-10 公立検査 2/21, 22 定期テスト③ 2/6, 7	公立発表 3/3 二次検査 3/13
面談	二者面談	三者面談② 11/11-11/17	二者・三者面談 随時			
書類	進路調査④ 10/28-11/4 手続願・推薦申請書 随時 - 11/21 迄					
就職	レディネステスト 職業適性検	職安との面接 ・ 職安との四者面談 ・ 希望する企業の選定		会社訪問 入社試験 入社手続き		
学習計画	入試の過去問題に挑戦する ・ 併願私立過去問・公立過去問を解く ・ 疑問点は必ず解消する 公立受検者は理科と社会の復習に時間をかける。					

※日付等に関しましては、感染症による影響で変更となる可能性があります。よろしくお願ひします。

7 昨年度の卒業生の進路(進路だより No.5)

以下は、昨年度の卒業生が受験(受検)した高校です。公立高校普通科では、松戸市内の中学生が受験できる学区が決まっています。金ヶ作中がある第2学区(船橋市・市川市・松戸市等)と、隣接している第1学区(千葉市)、第3学区(柏市・流山市・鎌ヶ谷市等)、第4学区(白井市・印西市等)となります。公立高校は普通科以外の学科(総合学科・理数科等)については、千葉県内であればどの高校も受検することができます。また卒業後に転居するなど特別な事情がある場合は、県外の公立高校を受検することもできます。そのような予定がある場合には、早めに担任まで御連絡ください。私立高校は全国どこでも受験することができます。

気になる学校について、HPで調べ、今後開催される「学校説明会」や「体験入学」に参加しましょう。

千葉県立市川工業高等学校
千葉県立市川東高等学校
松戸市立松戸高等学校
千葉県立流山おおたかの森高等学校
千葉県立柏中央高等学校
千葉県立鎌ヶ谷高等学校
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校
千葉県立行徳高等学校
千葉県立柏高等学校
千葉県立松戸高等学校
千葉県立松戸向陽高等学校
千葉県立松戸南高等学校
千葉県立松戸六実高等学校
千葉県立小金高等学校
千葉県立国分高等学校
千葉県立船橋古和釜高等学校
千葉県立清水高等学校
千葉県立沼南高柳高等学校
千葉県立柏陵高等学校
千葉県立船橋北高等学校

千葉県立船橋東高等学校
江戸川学園取手高等学校
我孫子二階堂高等学校
東京学館浦安高等学校
東京学館船橋高等学校
光英 VERITAS 高等学校
秀明八千代高等学校
千葉商科大学附属高等学校
千葉日本大学第一高等学校
二松學舎大学附属柏高等学校
八千代松陰高等学校
麗澤高等学校
駒込高等学校
千葉県立特別支援学校流山高等学園
KTC おおぞら高等学院
第一学院高等学校
勇志国際高等学校
滋慶学園高等学校
興学社高等学院
成美学園高等部

※全体人数 66 名のうち、37 名が公立高校へ、15 名が私立高校へ、12 名が通信制サポート校へ、2 名が特別支援学校への進学となりました。割合でいえば、全体の約 6 割が公立高校へ、約 2 割が私立高校への進学となりました。

8 高校訪問・説明会・体験入学について

(1) 高校訪問とは

志望校の候補をいくつか決めたら、ぜひ実際にその高校へ足を運んでみましょう。学校の校風や、生徒や先生の雰囲気、授業や部活動の様子など、自分の眼で実際に見てみなければわからないことが、たくさんあります。

学校説明会

教育内容や部活動、進路内容などについて、高等学校の先生が説明する会です。

体験入学・授業参観

実際の授業を見たり、体験したりできます。

文化祭等の公開

校風を体感することができたり、その高校の生徒の様子を見ることができ絶好の機会です。事前予約や見学チケットが必要な高校もあるので、確認しましょう。二者、三者面談での話し合いや自分の希望をもとに、夏休み中などに高校見学をすることは大変重要です。「もう、入試は始まっている」という気持ちで出かけましょう。

(2) 高校訪問の心得

- ① 中学校を通して連絡しなくてはいけない場合や、連絡しなくても良い場合もあります。きちんと確認しましょう。
- ② 服装は制服。校章・組章、ホックや袖ボタン等にも充分気を配りましょう。シャツ出し・スカート縮めなど問題外。生徒手帳(身分証明書)も持参しましょう。
- ③ 高校の施設(校舎・グラウンド等)や雰囲気の他に、交通の便も見てください。特に電車・バスの所要時間や本数等も事前に確認しておきましょう。入試の時必ず必要になります。
- ④ 高校に着いたら、まず受け付けに行き、「学校名、氏名、用件」を必ず言ってから学校に入ります。礼儀正しい行動をし、丁寧な言葉遣いを心がけましょう。
- ⑤ 可能であれば、保護者同伴で行くことが望ましいです。
- ⑥ 公立高等学校には、説明会・体験入学等の日以外は内部の見学のみどころがあります。平日に行く場合は学校の周囲や外観のみの見学になることもあります。
- ⑦ 高校訪問後は、担任に訪問の報告書を提出しましょう。
- ⑧ 受験する学校については、入試前に一度は見学に行く必要があります。特に、芸術系やスポーツ系の学校は、事前に公開練習会等に参加しましょう。高校入学後の学校生活のイメージを膨らませるためにも、自分の眼と、耳と、足で探してください。また、インターネット上のホームページで学校紹介をしている高校もあります。

9 奨学金制度について

いろいろな団体が学費の援助を行っています。毎年「日本育英会」「あしなが育英会」などの奨学生募集がきます。この他、各種の奨学制度があります。希望がある場合は、担任までご相談ください。昨年度の「奨学金・貸付金一覧」は本資料 P.27にありますので、御覧ください

10 これから心がけること

(1) 日常生活を大切にしよう。

- ①規則正しい生活リズム→健康的な生活をしよう。
〈悪い例〉夜更かし→朝寝坊で朝食抜き→授業中ぼんやり。
- ②基本的な生活習慣を大切にしよう。
☆あいさつ・言葉遣い・服装・礼儀・提出物等

(2) 毎日の授業を大切に。

- ①宿題・予習・提出物・授業時の発表等
- ②入試科目以外の教科も大切に

(3) 家庭学習を計画的に実行しよう。

- ①「自分で考える」勉強方法で実力養成を ⇒ 1、2年の復習
- ②夏休みの過ごし方が最重要点 ⇒ 夏を制するものは、受験を制す。
※3年生の学習は、毎日の授業と1、2年の復習の二本立てにしよう。

(4) 提出物の期限を厳守しよう。

- ①出願時期の書類提出に向けて、各教科や学校の提出物の期限を守って出す習慣を身につけましょう。
- ②印鑑を必要とするものは、しっかり押印してから提出すること。押印していない受験書類は受理されません。
※進路に関わる各種手続きをきちんと行うことは、将来の自立に向けて大切な学習となりますので、御家庭でも御指導をよろしくお願いいたします。

【 連絡 】

- ◎ 英検・漢検・数検の資格や、外部で取得した検定や表彰 等について
⇒外部で英検や漢検等の資格や、外部活動(野球やサッカー等)で表彰を受けたものについては、調査書記載内容の確認のため、賞状のコピー1部提出をお願いします。
- ◎ 第2回進路希望調査について
⇒明日、第2回進路希望調査を配付いたします。御家庭で相談の上、14日(木)までに提出をお願いします。
- ◎ その他
 - ・本日、卒業対策費1万円の集金をさせていただきました。欠席やお忘れの際は、三者面談でご持参していただき、各担任にお渡しください。次回、10月18日(火)の第2回進路保護者会の際に残りの1万円を集金させていただきます。
 - ・卒業記念品は、予算を800円程度で考えております。卒業対策委員会にて話し合い、決定し次第、御連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。
 - ・今年度の卒業対策費については、別紙(6月16日配付済み)の通りとなります。
御理解と御協力をよろしくお願いいたします

◎ 進路に関するお便りのホームページ掲載について

学校ホームページに、進路関係の手紙を掲載しています。紛失してしまった場合や、提出期限を確認したい場合に、学校ホームページの**お便り「進路関係書類」**のページを活用してください。

松戸市立 金ヶ作中学校
KANEGASAKI JUNIOR HIGH SCHOOL

① “お便り” を選択！

ホーム 学校の様子 **お便り** 部活動 いしの防止対策 教育課程特例校

ホーム > お便り > 進路関係書類

進路関係書類

進路に関する御手紙を掲載しております。

進路に関する御質問や御相談は、[こちら](#)の用紙をお使いください。
または、[こちらのページ](#)からお答えください。(以下のQRコードからもページにいけます。)
⇒[質問相談フォーム](#)

② “進路関係書類” を選択！

進路だより

4月 7日(木)	進路だより No.1	進路に関する提出物について
4月 14日(木)	進路だより No.2	進路希望調査提出日

◎ 質問相談フォームについて

進路に関する御質問や御相談を用紙にて受け付けていましたが、新しくスマートフォンやパソコンから入力できるように質問相談フォームを作成しました。以下のQRコードを読み込んでいただくか、URLよりサイトにアクセスしてください。

URL : <https://bit.ly/2TCzRgJ>

QRコードの読み取り方法

【iPhone の場合】
通常のカメラ機能で読み込むことができます。

【Android の場合】
Google レンズ機能で読み込むことができます。

2021年12月現在の各制度のホームページ等の情報をもとに作成しているため、今後各制度内容が変更される場合があります。制度の詳細は、必ず各制度の窓口等にお問合せください。
掲載されている制度以外にも、高校が独自に奨学金制度を行っている場合や、各金融機関が行っている教育ローン等がありますので、ご確認ください。

高校へ行くための奨学金・貸付金等一覧

高校の年間費用 ※あくまで目安です

学校教育費	私立
授業料	23万円
修学旅行・遠足・見学費	5万4千円
学校給付金等	21万6千円
図書・学用品・実習材料費等	4万3千円
教科外活動費・通学関係費等	17万6千円
小計	71万9千円
学校外活動費(代等)	28万円
年間必要額	99万7千円

【出典：平成30年度 文部科学省「子供の学習費調査」等 千円未満四捨五入】

国・千葉県の奨学金等（返済が不要です！）

【概要】 授業料相当額を受給できる制度 ※学校受取り 【要件】 所得要件有り
【対象】 公立、私立学校に通う生徒 【申請】 要申請：入学時に学校から案内有り
【金額】 公立：118,800円（年額）、私立：所得に応じた額
【問合せ】 公立：千葉県財務課 ☎043-223-4094 私立：千葉県学事課 ☎043-223-2155

【概要】 授業料以外の教育費負担を軽減する
【対象】 公立高等学校等に通う生徒
【要件】 所得要件有り
【金額】 生徒等一人につき年額32,300円～141,700円
【申請】 在学する学校へ申請
【問合せ】 千葉県財務課 青葉班 ☎043-223-4027

【概要】 授業料以外の教育費負担を軽減する
【対象】 私立高等学校等に通う生徒
【要件】 所得要件有り
【金額】 生徒等一人につき年額50,100円～150,000円
【申請】 在学する学校へ申請
【問合せ】 千葉県学事課 ☎043-223-2155

【概要】 県内私立高等学校の授業料の負担を軽減
【要件】 所得要件有り
【金額】 15万円以下
【問合せ】 千葉県学事課 ☎043-223-2155

【概要】 県内私立高等学校の授業料の負担を軽減
【要件】 所得要件有り
【金額】 15万円以下
【問合せ】 千葉県学事課 ☎043-223-2155

各種貸付金（返済が必要です！） ※詳細は、実施団体へお問合せください。

制度名	高等学校 入学金貸付	千葉県 奨学金貸付	生活福祉資金 (教育支援資金)	母子・父子・ 寡婦福祉資金	あしなが 奨学金	交通遊児 育英会奨学金
問合せ先	松戸市 児童給付担当室 ☎047-366-3127	千葉県 財務課 青葉班 ☎043-223-4027	社会福祉法人 松戸市 社会福祉協議会 ☎047-368-0503	松戸市 子育て支援課 ☎047-366-7347	一般財団法人 あしなが育英会 ☎0120-77-8565 ☎03-3221-0888	公益財団法人 交通遊児育英会 ☎0120-524-286 ☎03-3556-0775
貸付 対象者	就学する子どもの 保護者	就学する子ども	就学する子ども 保護者	母子家庭の母または 父子家庭の父	遠親家庭の子ども 保護者等が病気 や災害(交通事故 を除く)等で死亡、 又は重しい障害を 負っている家庭の 子ども	遠親家庭の子ども 保護者等が通故 に死亡したたり、警 しめ後遺障害のた め働けなくなった 家庭の子ども
貸付額 (入学金 度金)	【公立】 8万円以内 【私立】 30万円以内 【併給】1.4万円 以内※入学金延滞金 が未返金時のみ	50万円以内	50万円以内	私立高校入学のみ 一時金：30万円 ※就学人数に限り 有り	20万円 40万円 60万円 ※入学金支度金のみ の利用は不可	20万円 40万円 60万円 ※入学金支度金のみ の利用は不可
貸付額 (就学資 金等)	—	【自宅通学】月額 1.2・3万円 (私立のみ) 【自宅外通学】月 額：1.5・2.5・ 3.5万円(私立 のみ)の中から選 択	月額3.5万円以 内	修学資金(自宅通 学の場合) 【公立】月額 2万円以内 【私立】月額 4万5千円以内	【公立】月額 4万5千円(内貸 与：2万5千円) 給付：2万円 【私立】月額 5万円(内貸与： 3万円、給付2万 円)	月額2万円 月額3万円 月額4万円 の中から選択
各種貸付 条件等	保護者の 所得上限有り	保護者の 所得上限有り	保護者の 所得上限有り	—	保護者の 所得上限有り	保護者の 所得上限有り
連帯保証 人の有無	1人必要 ※独立して生計を 営む人	2人必要 ※連帯保証人(親 戚)と保証人 (別生計の成年 者)	原則不要 ※世帯内で通学借 受人が必要。	原則不要 ※収入状況による ※子どもが通学借 受人になることが 必要	1人必要 ※保護者可	1人必要 ※保護者可
貸付利率	無利子	無利子	無利子 (固定金利)	無利子	無利子	無利子
他奨学金 との併用	併用可能	併用不可 母子・父子・寡婦 福祉資金(奨学資 金)との併用不可	他制度優先	併用可能 ※ただし、一部併 用不可の場合有り	併用可能	併用可能
申請方法	申請期有り (12月募集、1月 ～3月上旬申請) ※児童給付担当室 に提出又は郵送	申請期有り 現在在学している学 校に申請(中学3 年生時の事前応募 有り)	随時受付	随時受付 ※申請から貸付の 決定まで概ね2～ 3か月程度	申請期有り ※あしなが育英会 へ直接郵送	申請期有り ※交通遊児育英会 へ直接郵送 (中学3年生時の 事前応募有り)

